



第47号 木曽川町連区



地域づくり協議会だよい

[発行日]令和3年6月1日 [発行者]木曽川町連区地域づくり協議会

〒木曽川町内割田一の通り27(一宮市木曽川庁舎内) ☎84-0005

[メールアドレス]k-chiiki@orihime.ne.jp

[ホームページ]<http://138Kisogawa.org> 木曽川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

会長あいさつ

木曽川町連区地域づくり協議会会長

日比野 洋一

日頃は地域づくり協議会の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度の地域づくり協議会の諸活動はコロナ禍で自粛要請が続く中、厳しい選択を迫られる苦難の1年でした。4月の総会を始め、盆踊りのつどい、敬老会、市民体育祭、文化・芸能祭、自主防災訓練及び雀のお宿・野外音楽祭など多くの事業を開催できず、参加を楽しみにされていた皆様には本当にご迷惑をおかけいたしました。



しかし、町長協議会が企画・推進する事業としての交通安全・防犯委員会研修会や防犯講演会は会場・方法など感染防止対策を十分講じた上で、開催することができました。また、地域づくり協議会に所属する各種団体や5部会では、事業計画の見直しや当面する課題について検討するよい機会と捉え、話し合いの場を継続してきました。

一方、市の特別交付金をもとに進めてきた提案事業は、最終年度として防犯カメラを町内の7か所に設置完了、避難所マップを作成し全戸配布、防災倉庫に非常時用の備蓄品を補充するなど、安全で安心なまちづくりに向け整備充実を図ることができました。

令和3年度の事業計画並びに予算（別掲参照）については、役員会での審議を経て4月9日の定期総会で承認されました。変異株ウィルスの増加に伴い「まん延防止措置」が適用されるなど、新型コロナの感染拡大はまだまだ予断を許さない状況下にあります。今年度、計画している各種の事業やイベントなどの活動が実施できるか不透明ですが、企画・運営に関わる皆さんと一緒に知恵を出し合い取り組んでいきたいと考えています。こんな困難な時にこそ「自助・共助」の思いでお互いに助け合うとともに、連区の皆様の絆を深める活動を見極め、推進できたらと思っています。今後も皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

コロナ感染防止対策を充分に行い、
皆の力でこの危機を乗り切りましょう！



連区長あいさつ

木曽川町連区長 宮口 勉

昨年につづき令和3年度も務めさせて頂きます。木曽川町が発足しましたのが明治43年（1910年2月）ですので、今年は112年目になります。一宮市が今年100周年を迎えますので、木曽川町の方が歴史を刻んでいます。先人の皆さんのご努力に近づけるよう頑張りたいと思います。



昨年度はコロナ禍で多くの事業が中止となり、楽しみにされていた皆さん同様、私共も残念な一年となってしまいました。しかしながら、コロナ対策を十分に行なう事での可能性を役員で話し合い、木曽川文化会館での講演会を3回開催する事ができました。本年度も第4波が危惧され、更には変異株の流行が迫る中、各種事業の開催には検討課題が多いですが、出来る事を追求してまいります。

本年度は4つの活動を重点取り組みといたく考えています。

1つ目は防災です。30年以内に80%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震や、毎年全国各地で発生している線状降水帯がもたらす洪水への対応です。3月に一宮市から洪水マップが届けられましたが、木曽川町連区内の大半が3m以上の水に浸ります。何処へ避難するか、避難困難者の案内を誰がどのようにするか等、課題が多くあります。

2つ目は地域のつながりです。安心・安全な暮らしには、地域のつながりが欠かせません。「遠くの親戚よりご近所の他人」がキーワードです。嬉しい生活を送るには大切な事だと思います。

3つ目は交通安全です。今年も一宮市内では、2月までに3件の死亡事故が発生しています。被害者全員70歳以上の高齢者です。幸い木曽川町連区での発生や被害者はありません、いつでも誰にでもふりかかる可能性があり、十分に気をつける事が必要です。各町内で選任されています交通安全推進委員の皆さんと、交通安全について考え方活動してまいりたいと考えています。

4つ目は防犯です。一宮市内の犯罪状況は、「一宮市民パトロール隊」通信で公表されています。小学校別に統計がなされ、昨年は42校区中木曽川町連区の黒田校区が第一位です（西校区17位、東校区36位）。今年も2月までに侵入盗や性犯罪が4件発生しています。特に子供達を守るため「こども110番の家」の増加も含め、被害に遇わぬいための啓発活動や監視活動を、各町内の防犯委員の皆さんと取り組んでまいりたいと考えています。

私の想いは「子供達に愉しさを」と「高齢の皆さんに安心を」です。この事をいつも念頭に、安全・安心な町づくりに精力的に努力します。皆さんも「できる事を」「できる範囲で」ご協力をお願いします。

愛知県警察本部長から感謝状授与

交通安全会長 宮口 勉

4月20日愛知県警察本部長より木曽川町連区交通安全会に対し、感謝状が授与されました。大変光栄なことであります。この表彰は木曽川町連区で交通安全活動をされている各地域のパトロール隊や各町内の交通安全推進委員皆さんを中心とした地域での活動が評価されたものであり、感謝を申し上げたいと思います。今年も一宮市内で3件の死亡事故が発生していますが、木曽川町連区内での発生はありません。連区内の皆さんと「木曽川町連区内での死亡事故ゼロ」を目指して活動してまいりましょう。



令和3年度 木曽川町連区地域づくり協議会 役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	日比野洋一	監事	太田 孝子	理事	千石 明
副会長	宮口 勉	安全安心部会長	中井 義也	理事	川合 俊雄
副会長	宇佐美正重	活気部会長	平林 哲也	理事	佐塚 篤
顧問	国井 紀元	思いやり部会長	中村 隆	理事	虫鹿 典子
事務局長	町田 哲史	女性部会長	宮崎 初美	理事	嶋 尚仁
会計	脇田 兼康	広報部会長	菱川 陽子		



令和3年度 木曽川町連区地域づくり協議会予算（単位：円）

歳出		
区分	予算額	備考
会務費	2,445,000	
内訳	事務費	178,000 消耗品等
	会議費	128,000 総会、部会開催経費
	活動費	200,000 会長、事務局長、部会長活動費、役員・会食補助費
	講習会費	238,000 HUG、認知症講習会、徘徊訓練、自然・文化・歴史講習会、見守りネット
	事業費	1,401,000 鶴のお宿野外音楽祭、防犯カメラ維持管理、光回線工事、防災MAP、ポータルサイト構築
	備品購入費	300,000 WEBミーティング用機材、コンテンツ使用料
事業費	13,367,000	
内訳	安全安心部会	交通安全会 589,000 防犯委員会 493,000 資源回収推進協議会 168,000 防災訓練 200,000
	活気部会	高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会 433,000 学校外活動推進委員会 272,000 公民館 3,492,000 健康づくり推進員連絡会 955,000
	思いやり部会	社会福祉協議会支会（見守り） 99,000 社会福祉協議会支会（敬老会） 6,226,000
	広報部会	440,000
予備費	357,000	
計	16,169,000	

※費目(区分)ごとに不足が生じた場合は、費目間の流用を認める。

